

令和5年度
北しりべし廃棄物処理広域連合温暖化対策推進実行計画
推進状況

1. 実行計画の削減目標

2013（平成25）年度を基準年度として、計画期間の最終年度である2030（令和12）年度の二酸化炭素排出量を14%削減する。
（計画期間：2018（平成30）～2030（令和12）年度）

2. 令和5年度 温室効果ガス排出量実績

表1. 温室効果ガス排出状況

温室効果ガス	調査項目	平成25年度 (トン-CO ₂)	令和5年度 (トン-CO ₂)	増減量 (トン-CO ₂)	増減率 (%)	
二酸化炭素	廃棄物焼却	19,997	15,844	▲ 4,153	▲ 20.8	
	燃料消費	灯油	1,053	177	▲ 876	▲ 83.2
		ガソリン	3.4	1.3	▲ 2.1	▲ 61.1
		軽油	40	34	▲ 7	▲ 16.2
	購入電力	389	459	71	18.2	
	売却電力	▲ 2,170	▲ 2,058	112	5.2	
	小計	19,312	14,457	▲ 4,855	▲ 25.1	
メタン	廃棄物焼却	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 11.1	
	自動車使用	0.0076	0.0071	▲ 0.0004	▲ 5.6	
	小計	1.0	0.9	▲ 0.1	▲ 11.1	
一酸化二窒素	廃棄物焼却	725	512	▲ 213	▲ 29.4	
	自動車使用	0.18	0.11	▲ 0.06	▲ 35.3	
	小計	725	512	▲ 213	▲ 29.4	
ハイドロフルオロカーボン	カーエアコン	0.086	0.078	▲ 0	▲ 9.1	
	小計	0.086	0.078	▲ 0	▲ 9.1	
温室効果ガス排出量合計		20,039	14,970	▲ 5,069	▲ 25.3	

※端数処理により割合・合計が合わない場合がある。

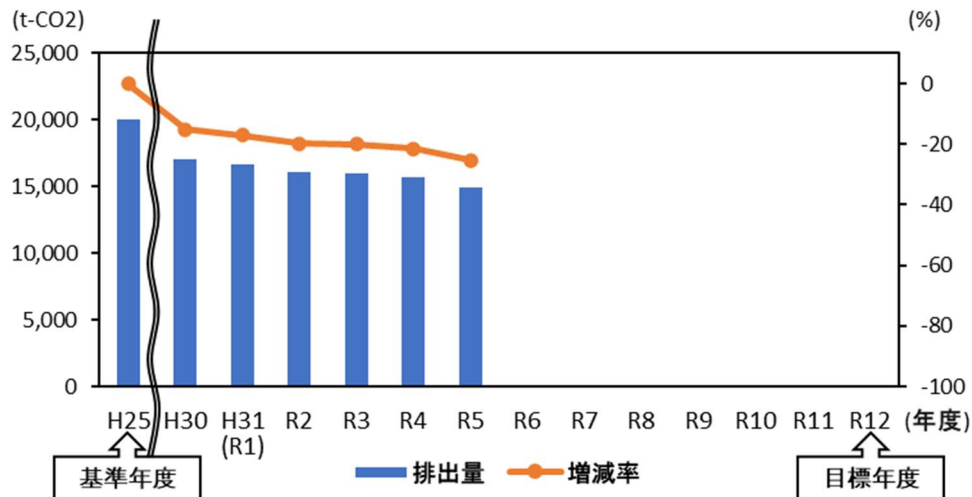


図 1. 温室効果ガス総排出量の推移

3. 結果の評価

令和 5 年度における温室効果ガス総排出量は 14,970 トンで、基準年度の平成 25 年度と比較すると 5,069 トン減少し、増減率は 25.3% 減であった。

調査項目別では、電力に係る排出係数の増加に伴い、購入・売却電力の二酸化炭素排出量は増加しているが、その他の項目では減少した。(表 1)

温室効果ガス総排出量については、目標年度に向けて順調に減少している。(図 1)